進んで学ぶ子
思いやりのある子
元気な子

なりたい自分に向けて　一歩前進

麻　姑　の　手

学校だより　Ｎｏ．３０９

垂水市立新城小学校

http://www.city.tarumizu.lg.jp/shinjo/kurashi/kosodate/gakko/shinjo/　令和５年２月１７日（金）

ウェルビーイングを目指す学校

学校長

「**ウェルビーイング（well-being）**」という言葉を聞いたことがありますか。文部科学省中央教育審議会の『令和の日本型学校教育（答申）』(2021.1. 26）の中で用いられた言葉です。「ビーイング（being)」は、人や組織、社会などの「状態」や「存在」を指し、その状態や存在が「ウェル（well)」つまり「よい」状態であることを「**ウェルビーイング**」といいます。具体的には、**人や組織、社会の幸福感や健康、物質的・精神的繁栄**を意味しています。こうした社会を実現していくためには、**一人一人が自分の身近なことから他者のことや社会の様々な問題に至るまで関心を寄せ、社会を構成する当事者として、自ら主体的に考え、責任ある行動をとることができるようになることが大切**です。

少し難しいことを書きましたが、ポストコロナ期における新たな学びを考えていくにあたり、これからの学校教育では、このような「ウェルビーイング」を目指すことが大切であると思います。

新城小学校では、子供たち、学校、家庭、地域が幸福を感じ、心身の健康を持続させていくために、子供一人一人が自分事として社会を見つめ、課題を見い出し、その課題解決に向けて自分（グループ）なりに追究計画を立て、トライ＆エラー（失敗や成功）を繰り返しながら、まとめ、表現していく「生活科・総合的な学習」に１年間取り組んできました。その探究学習の発表の場が、２月１０日に行われました「生活科・ふるさと垂水発表会」でした。今年度は、新たな取組として、低学年はレゴブロックで、高学年はMicrosoftマインクラフトというアプリで仮想空間をつくり、その中で探究して考えた「未来の新城のまち」を表現しました。まさしく「ウェルビーイング」を目指した子供たちの姿がそこにありました。

発表会当日は、保護者を初め、多くのふるさと先生方に参観していただき、子供たちは、やりきった成就感を味わっていました。どうもありがとうございました。

なお、右のQRコードから、発表の様子の動画を御覧いただけます。（※限定配信）

生活科・ふるさと垂水発表会
～つながる学び･想い～

中学年以上は、「マインクラフト教育版」を活用し、未来の新城を表現しました。課題解決力や創造力などを育むために、子供たちが自ら熱量をもって主体的に取り組めるクリエイティブな学びを進めています。

春夏秋冬の学習･体験活動に関わってくださったふるさと先生との思い出をまとめ、ふるさと先生と過ごす未来の新城をレゴブロックで表現しました。

「まなび」「リゾート」「産業」「環境」の４つの視点で調べ学習や体験活動を行い、自動化のためのプログラミングを取り入れながら、魅力ある新城の街を創造しました。

ＳＤＧｓの視点で考えたことを、社会科など他の教科で学んだことと関連付けながら，グラフ分析など科学的な根拠に基づいてまとめました。

【地域･保護者の感想】

○　少ない人数でも、それを感じさせないパワーがあり、とても頼もしいと思いました。

○　子供たちの１５年後、３０年後の新城の未来図を聞いて、長生きして未来の新城を見てみたいと思い、生きる喜びを感じました。

○　子供たちが頑張って準備してきたことが伺えました。高学年は情報収集も高度で、中学年は地域情報・工夫が素晴らしかったです。低学年のレゴブロックはクオリティーが高く、内容も３人でしたとは思えないほど濃かったです。

１・２月は、熊毛地区教育委員･県ＩＣＴ推進委員･他校の先生方が、本校の進めるＧＩＧＡスクール構想やＩＣＴを活用した授業の視察のため来校しました。

寒さにも負けずになわとびも頑張っています。3日のなわとび大会も見に来てください。

■　２月（１８日以降）・３月の主な行事

２月２０日（月）　児童総会
　　２４日（金）　文化財少年団解団式
　　県ＳＣ江田先生巡回相談
３月　３日（金）　学校参観（なわとび大会）
　　全体・学級ＰＴＡ　専門部会
　　ひまわり学級閉級式
　　ＰＴＡ三役会
　　１０日（金）　お別れ遠足・お別れ集会
　　１６日（木）　学校運営協議会
　　２３日（木）　卒業式
　　２４日（金）　修了式
　　離任式（１１：３０～１２：００）